

研究テーマ「平和・人権教育と国際連帯の広がりをめざして」

I 研究の内容

1 研究の方法

- (1) 部員各自の実践報告
- (2) 情報交換，情報提供による学習会
- (3) 授業研究（統一授業研）

2 研究経過

- | | |
|-------|---|
| 5月 8日 | 研究組織，研究テーマ，研究内容・方向性について |
| 5月22日 | 研究計画決定，情報交換，授業者決定 |
| 6月12日 | 授業案検討，夏季学習会について |
| 8月 9日 | 臨地研修会 笛吹市春日居郷土館特別展「今こそ知ろう，戦争のこと 忘れてはいけないこと～遺品が語る平和へのメッセージ～」(笛吹市教育委員会 文化財課 内田裕一先生) |

授業案検討

- | | |
|--------|-----------------|
| 8月28日 | 授業研究 |
| 9月18日 | 実践報告，県教研レポート検討 |
| 11月27日 | 実践報告，県教研還流報告 |
| 1月15日 | 実践報告 |
| 2月 5日 | 実践報告，研究のまとめに向けて |
| 2月12日 | 研究のまとめ |

II 成果と課題

1 成果

- ・研究テーマを意識しながら，児童生徒の実態に応じた授業実践を一人一人が行うことができた。また，こうした実践を持ち寄り，情報交換を行うことで効果的な授業過程や指導法について学ぶこともできた。
- ・統一授業研で行った2年生道徳科の授業では，「自分のよいところに気づき，そのよいところを伸ばすことができるようになる。」をめあてに，友だちとの関わりを通して，自分のよいところ気づき，自分のよいところだけでなく，友だちのよいところについても考えることができた。
- ・指導助言者の先生に毎回資料を提供していただき，実践だけでなく知識も増やすことができた。その中で，日常の指導についても考え，見つめ直すことができた。
- ・笛吹市文化財課の担当者を講師としてお招きし，春日居郷土館の常設展や特別展

「わが町の八月十五日展」を詳しく解説していただきながら見学，学習することができた。身近に残る戦争の怖さや平和の尊さを改めて考えさせられ，子どもたちへの平和教育の重要性を考える良い機会となった。

2 課題

- ・最近の国際情勢からくる平和や人権問題について，日本としての立場や役割を考えていくことなど，平和，人権，国際連帯に関する知識をさらに深めていく必要がある。また，得た知識を部会内だけでなく職場の同僚等にも広めていくことも大切である。
- ・今年度は，「国際連帯」に関わる授業実践の発表もあったが，さらに幅広く「国際連帯」への授業実践に取り組めるよう，教師が知識を身につけていかなければならないと感じた。
- ・今後グローバル化が進む社会で，児童生徒が身につけていかなければならない知識に関するテーマなので，より多くの部員を集めて研究ができるようにしたい。

III 成果物

1 指導案

第2学年道徳科指導案「とおるさんのゆめ」

桐山 祐希（後屋敷小学校）

◇ねらい：社会には，多様な人がともに暮らしているということにきづく。

誰に対しても思いやりの心を持ち，相手の立場に立って親切にしようとする気持ちを養う。

2 実践報告資料

「短所を長所に変えよう」	田辺 博幸	（大和小学校）
「パラリンピックってなんだろう？」	岩下 秀人	（後屋敷小学校）
「平和について考える親子読書」	岩下 城	（山梨小学校）
「ちいちゃんのかげおくり」	日野原和貴	（加納岩小学校）
「私たちの権利としての自由 自由権①」	永関 幸玄	（山梨北中学校）
「持続可能な開発目標（SDGs）の実践」	広瀬 竜太	（山梨北中学校）
「西岡京治氏について～世界で貢献する日本人～」	古屋 勝之	（笛川中学校）

3 提供資料

高添 勉（玉宮小学校）

「たけもりの里」

「クアラルンプール日本人学校 学校だより JSKL 通信」

「自己有用感が低いとどうなる？子どもの自信を高める」

「どうなってるの？ 世界と日本」

「出入国管理法改正案をめぐる論戦ポイント」

「Society 5.0に向けた人材育成」～社会が変わる，学びが変わる～

「日本人学校の現状」

「我が国の教育事情」

（部長 永関 幸玄）